

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	佐賀県建設産業協会			
H30採択グループ番号	07	—	0562	— 0730

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループとして、30年度に最も力を入れたのは、「地域密着型」の「佐賀松浦の家」として、お客様に「笑顔・感動・安心」を与える家づくりをすることです。川上から川下まで、の一連の流れの中で共同して、最高の住宅を提供するのです。これからも、一人でも多くのお客様が家づくりを通じて、今まで以上に笑顔あふれる家族になるお手伝いをしていきたいと思っております。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/09	名称	グリーン化実施説明会及び工務店研修		●	
	内容	グループのH30年度の取組み内容・地域型住宅仕様配分ルール、研修会の計画や、地域材の受発注に係る流れ等の説明を行い、質疑応答を終了した。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/12/01	名称	30%完成見学会		●	
	内容	地域の一般のお客様や、各構成員のお客様を対象に㈱中村建築様の「30%完成見学会開催」に合わせて「家づくり何でも相談会」を行った。相談会では、資金・土地探し・長期優良住宅等に対して、お客様の質問に答え、これから建てられる住宅へのアドバイスを行った。							
③ 工務店	消費者説明会 2	有	開催日	2019/02/23	名称	完成見学会		●	
	内容	地域の一般のお客様や、各構成員のお客様を対象に㈱中村建築様の「完成見学会開催」に合わせて「家づくり何でも相談会」を行った。相談会では、資金・土地探し・長期優良住宅等に対して、お客様の質問に答え、これから建てられる住宅へのアドバイスを行った。							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/08/09	名称	グリーン化実施説明会及び工務店研修	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/12/01	名称	30%完成見学会	タイプ	見学会	●
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/02/23	名称	完成見学会	タイプ	見学会	●
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		
	内容	グループには、長寿命型未経験工務店が7社/9社いる。事務局内に体制を構成し、経験工務店が主体的に活動し、未経験工務店の提案・申請をサポートした。昨年度7社中3社が、実績報告を行った。		
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	3	発行予定	8
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JBN住宅履歴	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	地域型住宅1棟当たり1万円の積立てを行い、廃業時の調査費として使用し、消費者にメンテナンス引き受けに関する提案と説明を実施。グループ事務局内に「すまい相談窓口」を設置し事故発生した場合の対応の手引きを作成。又、事務局は以後のメンテナンス等に関して継承工務店を斡旋する。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	設計・施工グループ構成員によるサポートや仕様説明会・施工・設計に関する勉強会等の計画を立て長期優良住宅の経験メンバーを中心に、施工現場での施工勉強会を実施した。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	3社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	佐賀県建設産業協会			
H30採択グループ番号	07	—	0562	— 0730

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/25	名称	グリーン化実施説明会及び工務店研修		
	内容	今年度の取組に関して、共通ルール・研修会の実施計画・申請方法・H30年度との違い等について説明会を実施する。又、工務店研修として、長期優良住宅の勉強会の実施する。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/10/05	名称	現場見学会		
	内容	「佐賀松浦の家」地域型住宅の見学会を利用し、地域の一般のお客様や、各構成員のお客様を対象に「家づくり何でも相談会」を行う。相談会では、資金・土地探し・長期優良住宅等に対して、お客様の質問に答え、これから建てられる住宅へのアドバイスを行う。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/12/07	名称	現場見学会		
③ 工務店	内容	「佐賀松浦の家」地域型住宅の見学会を利用し、地域の一般のお客様や、各構成員のお客様を対象に「家づくり何でも相談会」を行う。相談会では、資金・土地探し・長期優良住宅等に対して、お客様の質問に答え、これから建てられる住宅へのアドバイスを行う。						
	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/25	名称	グリーン化実施説明会及び工務店研修	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/10/05	名称	30%完成見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/12/07	名称	完成見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店を中心に、事務局員がサポートにつきましては「佐賀松浦の家」の提案から設計・申請手続きの手助けを行う工務店を募集しサポートを行う。今年度の目標は4社とする。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JBN住宅履歴
------------	----------	-----	---------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	地域型住宅1棟当たり1万円の積立てを行い、廃業時の調査費として使用し、消費者にメンテナンス引き受けに関する提案と説明を実施する。グループ事務局内に「すまい相談窓口」を設置し事故発生した場合の対応の手引きを作成する。又、事務局は以後のメンテナンス等に関して継承工務店を斡旋する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	今年度実施される省エネ化に向けた研修会に関して、受講を積極的推奨する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	既存住宅を対象に(特にOB顧客)住宅の省エネ化に向けた提案訪問を行うためのチラシを作成し勉強会、現場見学会等で、提案を行う。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/11/20				
内容	省エネ改修型に関する内容が公開されたのち、グループとして率先して取り組む事業者を対象に研修会を実施する。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	佐賀県建設産業協会				
H30採択グループ番号	07	—	0562	—	0730

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>私たちが目指すのは、地域密着型の「佐賀松浦の家」として、お客様に笑顔・感動・安心を与える家づくりをする運命共同体であります。又、「住まい手の方々が笑顔で生活できる住まいをご提供する事」にあります。そのためには、佐賀県の優良な地域産材を使った地域風土に調和する家づくりと住まい手に安心してお住まいいただくために、チームで取り組む継続的なメンテナンスを約束した、長期優良住宅を提供することにあります。</p>
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	施工グループが中心となったグループを立ち上げ「葉付乾燥」による天然乾燥を確立させる。			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無				
造作材	枠材、廻縁等	無				
板材	壁板、床板等	有				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	H28、H29、H30年度の地域材需要実績に基づく1棟当たりの平均需要予測を算出しグループとして、一括で購入するルールを作成する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	給湯器・トイレ・キッチン・UBなどの住設機器を3パターンほどの推奨建材としてまとめ「佐賀松浦の家」標準仕様として提案する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内の地域材(佐賀県産材)在庫状況(供給可能量)を定期的に事務局が把握する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	JBN編集「木造住宅工事管理の実務」に沿った施工基準を実施する。技術講習会の施工講習を受講し、施工技術の共通化を図る。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	JBN維持管理計画書による。JBN維持管理計画書の提出と指定図書を住宅履歴情報として「いえもり・かるて」(情報サービス機関)に蓄積。施工業者は、点検完了後、住宅履歴情報登録を行い、事務局へ報告。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	JBN編集「木造住宅工事管理の実務」に掲載されている「木造住宅施工現場検査チェックシート」に従い、実施する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	グループとしての「標準見積書」の作成と、積算手法の標準化の取組み。それによる、消費者への住宅コストの見える化と適正な価格の提示。「標準見積書」を使用して、消費者への提示・説明の義務化。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	定期的な連続休暇が取得できる工期とし誰もが働きやすい現場環境づくりを目指します。(事務局として週休二日制の導入を後押しする。)
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	技術者の資格や現場の就業履歴等を業界横断的に登録する。建設キャリアアップシステムの学習を開催する。
③ 社会保険への加入	有	内容	社会保険の加入を建設業を営む上でのミニマム・スタンダードにする。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	佐賀県建設産業協会と連携し、建設工事従事者が安全及び健康に関して、高い意識を持ち建設工事の現場の、安全を高めるための安全大会を開催する。(年1回程度開催)

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	佐賀県建設産業協会				
H30採択グループ番号	07	—	0562	—	0730

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数(1畳換算)30枚
② 和瓦の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数:200坪
③ 襖・障子の活用	有	内容	積極的に障子を活用し、和の住まいを実現すると共に、省エネ性能をさらに上げる工夫を行う。今年度の使用予定枚数(3' × 6'換算)30枚
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	地域で製作される陶器製洗面ボールや小物を意識した提案を行い、地域を意識した地域型住宅として、基本仕様1か所以上組み込む。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	昔ながらの町屋の家が多いので軒のある瓦屋根を継承していく。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	地域の特性として二世帯、三世帯での住まいは少なくない。親から子へ、子から孫へ継承できる家づくりとして、可変性のある家づくりに取り組む。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	地域のガイドラインや市町村の計画を構成員同士で情報共有しながら町並み形成に反しないデザイン等を研究していく。佐賀市や唐津市の城下町では、瓦屋根を採用する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

被災地のグループとの交流を予定している(交流・情報交換)。

② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

佐賀県建設産業協会として、佐賀県と「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を締結している。全建連、JBNと連携し、熊本地震被害住宅復旧工事支援等に積極的にに関わり、被災住宅の補修等のための相談制度に協力した事をふまえ、今後災害が発生した場合には、相談員制度に積極的に関わっていく。